

アートフル・サフラン



001_Kote-E

2023 10 22 機那サフラン酒本舗保存を願う市民の会

このような企画に賛同いただいた県立美術館友の会の、
会長の上松さん、副会長の山本さんに、感謝いたします。

また今日の座学会場を提供いただいた、摂田屋・星六様に、
御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

自己紹介

春日と申します。

近代美術館友の会の会員の、アート好き人間です。

- ① 県立美術館友の会 会員 ----- 21名
- ② さまざまなボランティアでガイド
機那サフラン酒本舗 休日公開スタッフ
長岡観光ボランティアガイドの会 会員 ----- 5名
- ③ その他、長岡郷土史研究会、越路大地の会など
郷土の歴史、地学に関連したあつまりの会員

機那サフラン酒本舗 休日公開スタッフをしていますと

最近の訪問客には、サフラン酒の罌絵蔵の前にサッと現われ、カメラでパチリ、急ぎ足で立ち去る方も少なからずおられます…

時間と交通費をかけて、いらっしゃっている筈なのに、あまりに、もったいないと感じていました。

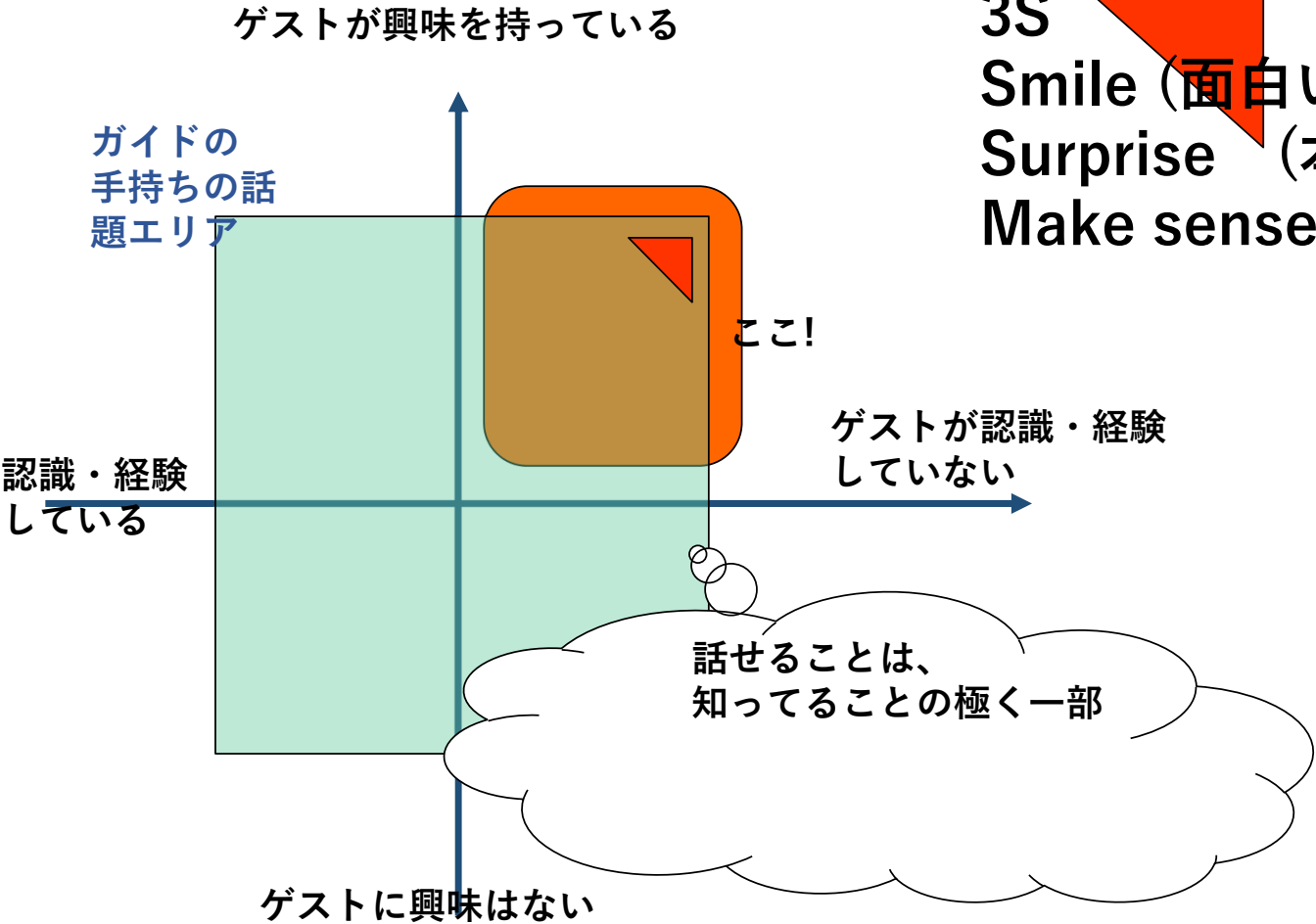
もっと、魅力をお伝えしたい。もっと、ゲストの皆さんと話し合いたい。

そこから、近美30周年に合わせて、今回のような形の、ガイドの企画と、なりました。

当日、お示し
しなかったこと

アート好きのゲストが望み、 ガイドが提供できる3Sのエリア

3S
Smile (面白い)
Surprise (本当!)
Make sense (納得)



もうひとつの、きっかけ

第七回 「アートカフェ in 造形大」 2019/02/09

「鑑賞の入口 ～“みる”から始める発見とワクワク～」

講師、近美の宮下東子先生

見	みえる、目に映る
観	よくみる 観察する
鑑	見分ける 過去や他に照らして考える（判断） 比べるものとして何を選ぶかも、大事なこと

すみずみまで見ると、もっと面白い

機那サフラン酒本舗を楽しむのも、同じだと思います。

饅絵でも、建物でも、よく“みてみる”と、
『謎、謎々』の発見の連続なんです。

創業者の吉澤仁太郎さんは、屋敷内の創作の意図について、何一つ、記録に残していなかったようです。もしかしたら、『もし口外したら取引を打ち切る』など、かん口令(箝口令)を敷いたのかも知れません。それは、皆に『謎を解く楽しみ』を残したかったからかも、と思っています。

実際、吉澤仁太郎さんは、たいへんな美の探究者、
凄い教養人だったと確信しています。
そして、要望に応え、左官に熟達した河上伊吉さんも偉い。

そんなこんな、で「定説」のない中、
鏝絵蔵を中心に、美、そして何か、隠されているものを
みなさんと一緒に、感じてみたいと思っています。

『こんな見方も 許してもらえるかな』と思いつつ……

こんな順番で、お話ししようと思います。

① 鰻絵蔵の美

② 鰻絵の色（何故、この青）

③ その他、鰻絵蔵の見どころ

④ 何か、隠されていませんか
（何か、求めていく、大切なもの）

⑤ 何か、隠されていませんか
（何かに対する、祈りと感謝）

巧妙な美のアート

巧妙に隠された『意味』

遊び、娯楽
（テーマパーク）



01_サフラン酒の鰻絵・青、建築

鰻絵とは

サフラン酒・鰻絵蔵の魅力

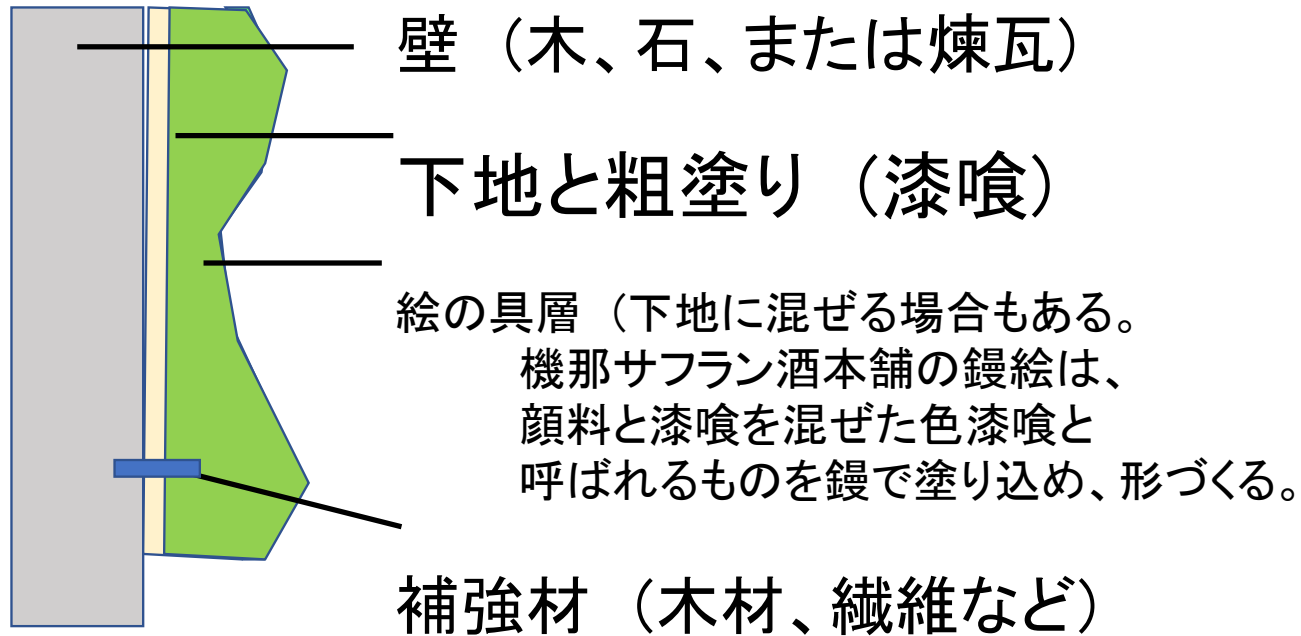
(1) アーティスト的話題

美しい青

生き生きとした動きの表現

(2) その他、サフラン酒の鰻絵蔵建築的話題

鍔絵とは何？（鍔絵、塑造レリーフの断面）



鍔絵の化学 ～ 省略

詳細は、MfG_J_comparison_KoteE を参照ください。

日本最初の鍍絵、入江長八

塗額、塑像、建築装飾など、鍍絵の多くの手法で、
たくさんのお名品を生み出す。(制作の多様性、日本画の伝統)

塗額(ぬりがく)とは、長八が得意とした作品ジャンルで
制作数をもっとも多い。 板材に漆喰を薄塗りした下地の
上に人物や風景を浮き彫り風に描き、額装まで漆喰で
製作している。

[日比野監修、「伊豆の長八」、平凡社(2015)]

塗額の名作「富嶽」

漆喰着色 74.5x137.0cm



入江長八の鍔絵、川上伊吉の鍔絵

漆喰の下地のうえに、筆、鍔で浮彫風に描く。

色漆喰を鍔でもりあげる。

どちらが、どうのこうの、と優劣に言及するものではなく、
いずれも、各時代に、一時代を画した、
素晴らしい「アート」だと思います。

サフラン酒・鍔絵蔵の最大の魅力は何か？



まずは、「土蔵に多くの鍔絵、
美しい色彩のバランス」
ではないでしょうか。

「わびさび」さえ感じる、
ゴテゴテ趣味の対角に
位置する美しさを、
感じるのですが。

渡辺関靖氏撮影

そして白壁に映える青い鳳凰



はじめに建設した
衣装蔵の四方を守る四神
(青龍・白虎・朱雀・玄武)と
同じく、鏝絵蔵でも四神、
鳥は最初、朱雀の予定
だったと思います。

ところが、朱雀は
Vermilion Bird であり、
赤。

火事の想起を
嫌ったのでは

赤は、どうも



四神の赤い朱雀の代わりに、四霊の青の鳳凰。ここから「四神に四霊を追加」に変更したのではと思っています。

鏝絵の題材に、
発想の転換
～仁太郎ワールドに
大きな役割
・・・ 詳細は次頁

これしかない、東面の「配置」のマジック

北面
の二階
へ

方位の守護神と五大思想の反映

	東	南	西	北
「空」 鬼瓦	四神 青龍	四靈獸 朱雀	白虎	玄武
「風」	四靈 応龍	四瑞獸 鳳凰	麒麟	靈龜
「火」			「地」	「水」

「空」
「風」
「火」
「水」
「地」

さらに、十二支が勢揃いのマジックも可能になりました。説明は現地で。

では、鰻絵蔵の内側の4枚は、福祿寿のメンバー、人間の七徳を表わすのでは

事務所の入口に、「自分たち社長と専務を掲げ」

清廉（恵比寿） ～ 二代の像

有福（大黒天） ～ 初代の像

社員たちよ、清廉こそ基本、さすれば福が来る。

帳場のカウンターに、「取引先、出入り業者に」

人望（福祿寿） ～ 鶴亀、

鶴が二羽 ～ 夫婦円満

みんな夫婦円満に、人望厚く生きようではありませんか。

「周囲から尊敬・信頼ができる人物でありたい」という見方ができないか

鏝絵の美しい青

白壁をバックにした
「鳳凰の青」こそが美しい。

青の輝きは、きっとラビ斯拉ズリの蛍光。
ラビ斯拉ズリは、主成分のラズライト他、数種の鉱物の混合物で、
そのうちの一つの成分「ノゼアン」が、自然光のもとで蛍光性を有するもの。



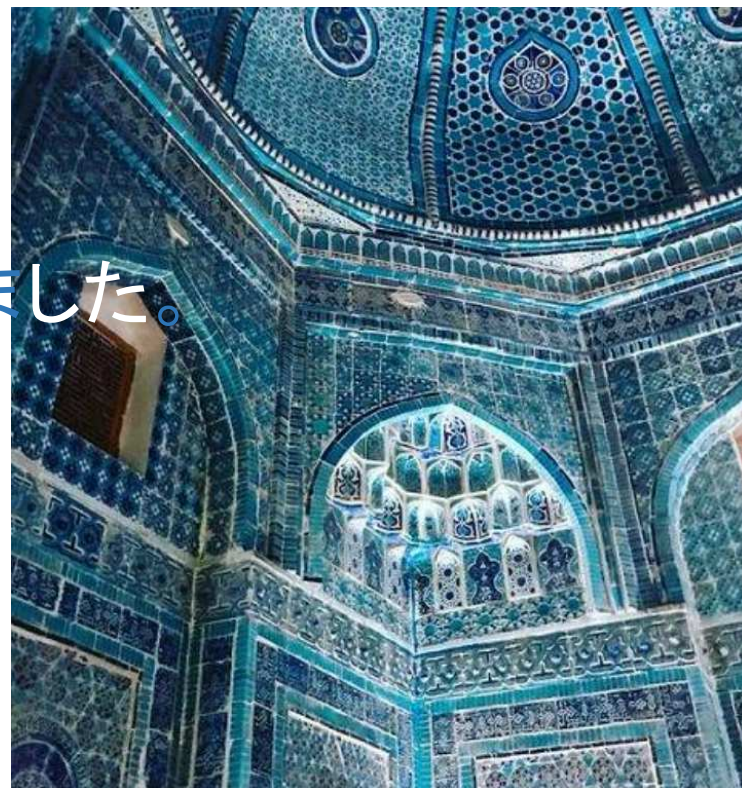
<https://www.saltworkconsultants.com/lapis-lazuli/>

このノゼアンの比率の高いところを使ったのでは、と想像しています。

しかし、まだ断定はできません。
サマルカンドブルーも然りです。

長年、この顔料も、ラピスラズリとされてきました。

ところが、そうではないことが、近年、
古文書から判明。
～『ある樹木を燃やした灰に、
金属を添加し、さまざまな青』とのこと。

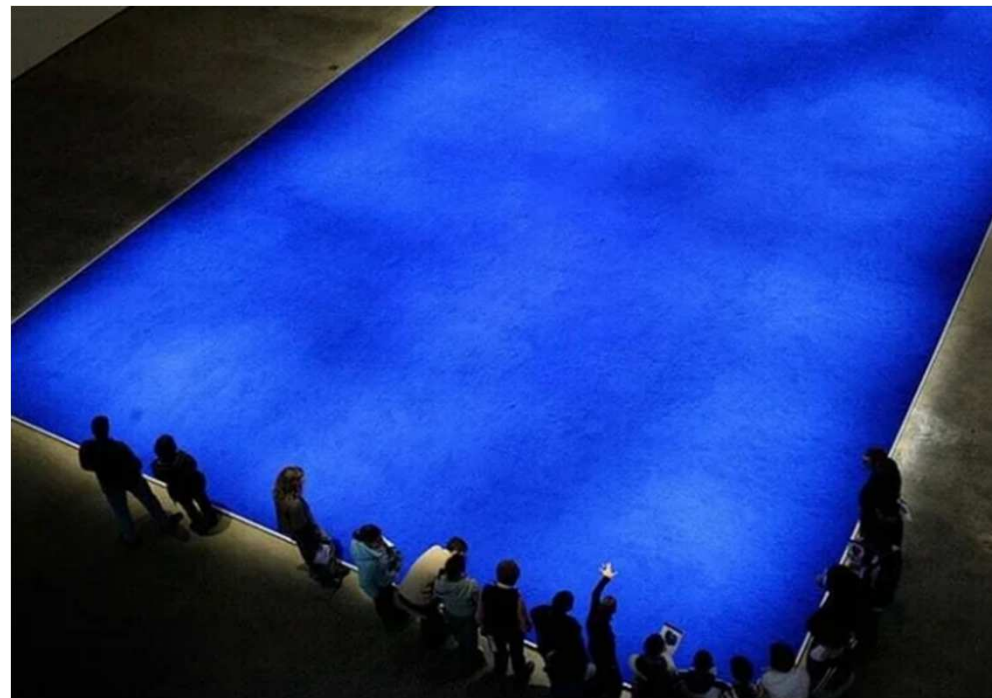


ノゼアンを多く含むラピスラズリと思う鳳凰の青も、
予測に過ぎず、解明を待ちたいと思います。

～現代の、類似の色として、ふたつ。

現代のライバル(1) イブ・クラインのブルー です。
International Klein Blue (IKB) 、サファイアブルー ともいわれています。

吸い込まれるような鮮やかで深い青、
現代アートのエヴ・クライン
(Yves Klein, 1928年 - 1962年)が
1957年に製作した青です。
『スイミングプール』という作品は、
大きさは500平方m 以上あり、
独特の、鮮やかな青色で塗られています。



16進表記	#002FA7
RGB	(0, 47, 167)
CMYK	(98, 84, 0, 0)
HSV	(223° , 100%, 65%)

現代のライバル(2) インミンブルー です。

Yinmn-blue

YInMnブルー(インミンブルー、英: YInMn blue)の、Yはイットリウム、Inはインジウム、Mnはマンガン。2009年にオレゴン州立大学のMas Subramanian教授のチームの大学院生であったAndrew E. Smithが、別のテーマを研究中に、偶然発見したということです。



16進表記

#2e5090

RGB

(45.82, 79.92, 143.51)

CMYK

(68.07, 44.31, 0, 43.72)

HSV

(219.06° , 68.07%, 56.28%)



もしかしたら、キジの肉垂のような「赤」にヒントがあるような。
(朱の補色が青だからこそ、青が印象に残った?)

もうひとつ、麒麟の青

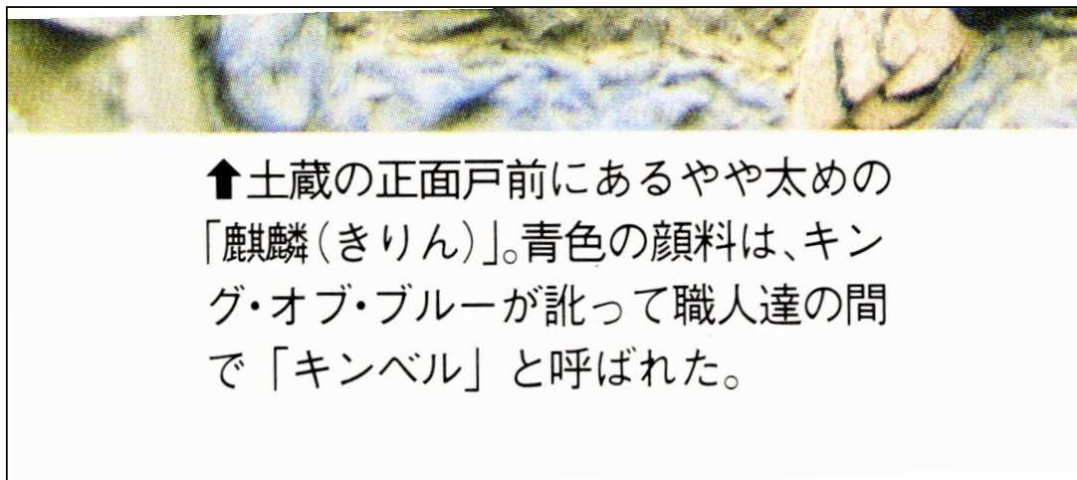
最初の「キンベル」との出会い



『消えゆく左官職人の技 鏝絵』

写真・文 藤田洋三
小学館(1996)

最初の「キンベル」との出会い



ところが最近、
興味深い資料に
出会いました



何と、…

ところが、
鶴田, ”顔料の歴史
絵具講座(第II講)”
色材(2002)に
思わぬ記述…

であった。明治15年出版の『絵具染料薬品略説』¹¹⁰⁾では「ベル」と表示され、大正8年出版『工業薬品大辞典』¹¹¹⁾では「ベレンス」と表示されている。

長崎へ来航の船員たちの脇荷としてプルシャンブルーが持ち込まれ、長崎で紺青と訳された¹¹²⁾が文化4年(1807)より古く、それ以前は未詳である。江戸時代の大方の呼称¹¹³⁾としては「ベレンス」「ベル(金べらん口ベル)」であった。そして明治、大正、でも未だ「ベル」がその呼称として残っていた。

キンベルは
プルシャンブルー
だったのです。

北斎ブルー

プルシャンプルーを多用。
初刷り、後刷りで異なりますが...



凱風快晴(通称、赤富士) 1831以降
上は初刷り、MOA美術館蔵
下は後刷り、山口県立萩美術館蔵

麒麟とともに、大黒様・恵比寿様の
青もプルシャンブルーで決まりそう。

もうひとつの青、ラピスラズリ、別名
(ウルトラマリン・ブルー)とともに、
古くからの藍銅鉱(アズライト)
などに拘らない、
仁太郎さんの先進性を感じます。



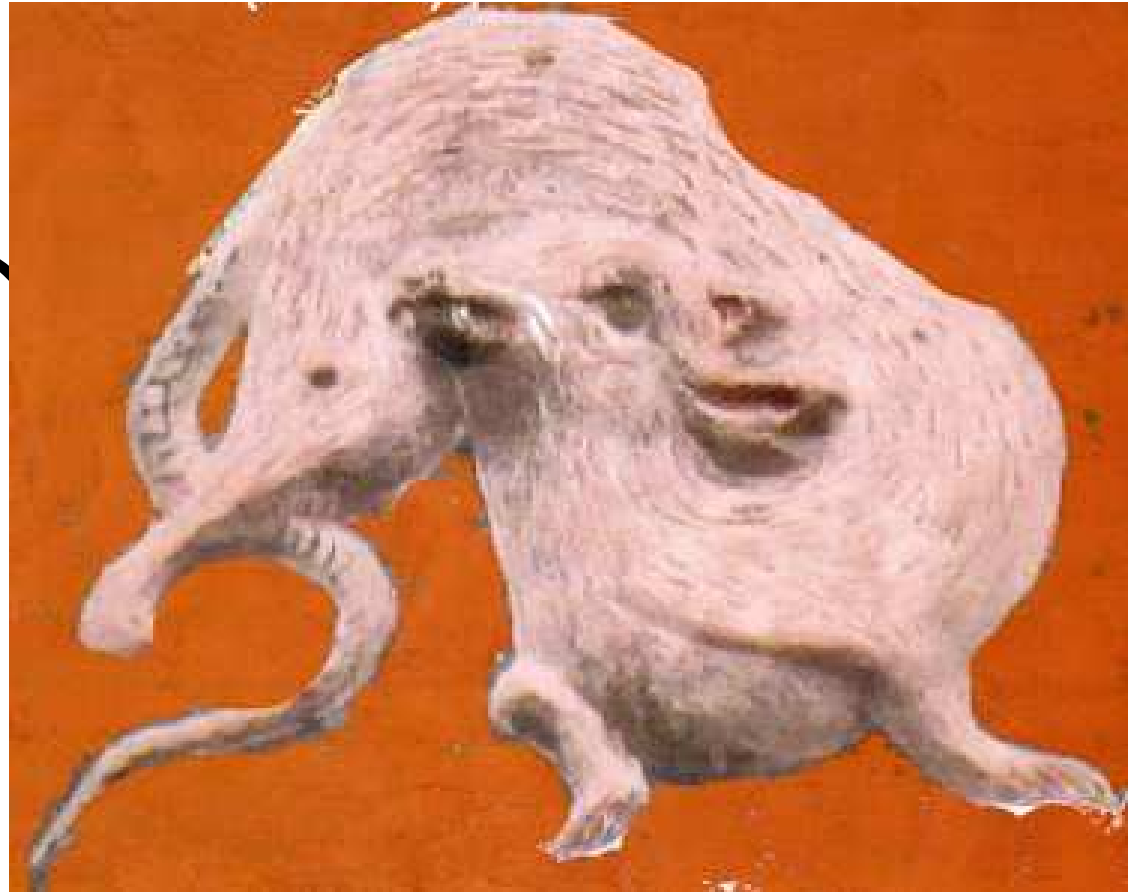
生き生きとした動きの表現

多くの動物は、生き生きと表現されています。

特に、北面二階の四匹は各々に相応しい毛並みの表現。 鋺の技が冴えています。



特にネズミの、口、目、
耳、そして手足。
写実的ではないが、
生き生きした表現。



よく見えています。
左官の伊吉さん、
タダモノではありません。

鏝絵の盛り上げ



南面の二階の酉

数段階の明るさの
「薄茶」色漆喰を巧みに、
塗り込んでいます。

もし、「18枚の中、1枚あげる」、と
言われたら、私は、これを選びたい。



みなさん、こんな鑑賞法、聞いたことありませんか。

美術館の展示室で、

「この中で1点だけ、もらえるところいたら、どの絵を選びますか。」

「好きな絵 2つのうち、どっち？」

鏝絵蔵でも、庭園でも、離れ座敷でも、
こんな視点で見ると、本気で見ます。
きっと違ったものが見えると思います。

その他、サフラン酒の鰻絵蔵建築の話題

(1) 土蔵の防湿構造

鰻絵蔵西の全面一層海鼠壁、星野本店の三階蔵

(2) 土間から土蔵への入口に豪華な冠木門

鰻絵蔵、衣装蔵。 星野本店の三階蔵にも。

今日は、(1)のみ。

いつも、ここはガイドするようにしています。

(1) 土蔵の防湿構造

鰻絵蔵西の全面一層海鼠壁



静岡県西伊豆・松崎町の
土蔵海鼠壁は、二層・三層。

鰻絵蔵西の全面一層海鼠壁は、全国的にも珍しい壁面で、幾何学的にも美しい。
平瓦を吊り下げる、複雑になる構造を敢えて採用した理由は何か、考えてみました。

冬には、偏西風で吹雪が吹き付け、凍結します。
二層など、分けられている場合、凍結した雪が解けて壁に浸み込む恐れがあります。
湿気対策性能の低下とともに、防火性能の低下も嫌ったためではないかと思っています。

